

## 国土情報基盤整備の促進に関する決議

現在、我が国は少子化や地方の衰退といった早急に克服すべき課題がなお深刻な状態である。「強い経済」を実現する総合経済対策で示されたとおり、我が国の経済は今、これまでの「デフレ・コストカット型経済」から、その先にある新たな「成長型経済」に移行する段階まで来ているが、従来の経済構造から脱し切れているとは言えない状況である。

経済を再びデフレに後戻りしない「成長型経済」に確実に移行するためには、デジタル技術の徹底的な活用と、革新的な技術の開発・社会実装を強力に推進することにより、デジタル技術を駆使した様々な分野における社会課題の解決や生産性の向上を実現していくことが求められている。

また、危機管理投資の面では、頻発化・激甚化する風水害や首都直下地震や南海トラフ巨大地震などの大規模災害の発生が危惧されているが、防災デジタルプラットフォームやデータ連携基盤の構築・活用など、デジタル技術や衛星情報の徹底的な活用が必要である。このようなデジタル技術は、災害対応で役立つことはもちろんのこと、日頃の社会・経済活動においても、様々な分野での活用が期待される。

これらを実現するため、共通の情報基盤として、デジタル公共インフラである国土情報基盤を着実に整備・更新・維持管理し、正確性・最新性を確保し続けるとともに、その利用価値を一層向上させるためより高度化していくことが成長投資、危機管理投資の観点から必要不可欠である。

以上から本議員連盟は、総意を持って次の事項に関し、国会並びに政府等に対して強力に要請する。

### 記

一 我が国の持続的な成長や幅広い分野の生産性向上、デジタル技術の徹底的な活用による国土強靱化の共通基盤である「国土情報基盤」の整備・強化を積極的かつ総合的に進めること。

一 このため、次に示すデジタル公共インフラである国土情報基盤の取組を強力に推進すること。その際、一定の地域において集中的に各種の取組を行い改善を進めながら、効率的に整備・強化を実施すること。

- 測量や地殻変動監視、高精度な位置情報サービスのために必要な電子基準点網の安定運用と耐災害性強化、衛星 SAR（サー）の活用強化を実施すること。
- 国土の適切な管理やデジタルプラットフォームに不可欠な電子国土基本図の3次元化の着実な実施や空中写真を高頻度で更新するとともに、高精度標高データの整備を迅速に実施すること。
- 測量設計業の人材確保のため、測量業界の DX を進めるとともに、測量士・測量士補資格制度の改善や資格取得のためのリスクリング支援を進めること。
- 防災計画や災害後の復興計画に重要となる防災地理情報の整備を強化すること。
- 右記の実現に必要な国土地理院の体制を充実・強化するとともに、資材価格・人件費高騰等の影響も反映した十分な予算を確保すること。

右、緊急に決議する。

令和七年十二月十日

国土情報基盤整備促進議員連盟